

氏名： 中西 公子  
所属： 人間文化創成科学研究科 文化科学系  
職名： 准教授  
学位： 博士（言語学）／ Ph D  
専門分野： 言語学（意味論、語用論）  
E-mail： nakanishi.kimiko@ocha.ac.jp  
URL： <http://sites.google.com/site/kimikonakanishi/>

#### ◆研究キーワード / Keywords

数量詞／含意と前提／とりたて詞／極性表現／程度表現  
quantifiers / implicature and presupposition / focus particles / polarity items / degree expressions

#### ◆主要業績

総数（3）件

- Nakanishi, Kimiko. 2008. The syntax and semantics of floating numeral quantifiers. In S. Miyagawa and M. Saito eds., *The Oxford Handbook of Japanese Linguistics*, 286-318. Oxford: Oxford University Press.
- Nakanishi, Kimiko. 2008. Scope of even: A crosslinguistic perspective. In *The Proceedings of the 38th Conference of the North East Linguistic Society (NELS 38)*.
- Nakanishi, Kimiko. 2008. On compositionality of EVEN: A case study of German auch nur. In *The Proceedings of the 2008 Annual Conference of the Canadian Linguistic Association*.

#### ◆研究内容 / Research Pursuits

「語の意味と文の意味の関係」と「文の意味と談話の関係」を、諸言語の言語現象の考察を通して明確にする。これまでの研究では「語の意味と文の意味の関係」の解明に焦点を置き、(A) 否定極性表現（分布が否定文に限られる表現）の性質と (B) 数量詞を含む構文の性質を考察した。

## ◆教育内容 / Educational Pursuits

言語の規則性・普遍性を意味の面から考察する。

## ◆研究計画

「語の意味と文の意味の関係」に関するこれまでの研究成果を基に、「文の意味と談話の関係」に主眼を置く。とりわけ、否定極性表現ととりたて詞の関係、さらに両者の談話における解釈についての研究に取り組む。

## ◆メッセージ

英語や日本語の構造や意味を注意深く見てみると、今までは気づかなかったような規則性が見えてきます。私の授業では、言語の規則性・普遍性を意味の面から考察することを目的としています。授業を通して、言語を観察する楽しみを感じていただきたいと思っています。